

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公表番号】特表2006-503694(P2006-503694A)
 【公表日】平成18年2月2日(2006.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報2006-005
 【出願番号】特願2004-546719(P2004-546719)
 【国際特許分類】

B 0 5 C 5/02 (2006.01)

B 0 5 C 11/10 (2006.01)

B 0 5 D 1/26 (2006.01)

【F I】

B 0 5 C 5/02

B 0 5 C 11/10

B 0 5 D 1/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ダイキャビティに流体連通する少なくとも1つのアプリケータスロットを有する塗布ダイと、

前記ダイキャビティの内部に配置される膨張可能チャンバ装置とを具備し、

前記膨張可能チャンバ装置が、該膨張可能チャンバ装置の内部の流体圧力の変化に応じて、その容積を変化させるようになっていること、
 を特徴とする装置。

【請求項2】

内部の前記流体圧力の変化に応じた前記膨張可能チャンバ装置の単位長さ当たりの前記容積の変化が、前記ダイキャビティの全幅にわたって実質的に均一である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記膨張可能チャンバ装置に流体連通するとともに該膨張可能チャンバ装置の内部の前記流体圧力を制御するようになっている圧力制御機構をさらに具備する、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

塗布ダイを通して液体材料を並進移動させる方法であって、

ダイキャビティに流体連通する少なくとも1つのアプリケータスロットを有する塗布ダイを用意するステップと、

前記ダイキャビティ内に膨張可能チャンバ装置を配置するステップと、

前記膨張可能チャンバ装置の内部の流体の圧力を制御することにより該膨張可能チャンバ装置を作動させるステップと、

前記膨張可能チャンバ装置の作動により影響を受ける変動率で、前記アプリケータスロットから液体材料を送出するステップと、
 を含む方法。

【請求項 5】

前記膨張可能チャンバ装置を前記ダイキャビティの実質的全幅にわたって延ばすステップをさらに含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記膨張可能チャンバ装置を、部分的に前記ダイキャビティの表面により画定する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記膨張可能チャンバ装置を圧力制御機構により作動させて、前記アプリケーションスロットからの流体材料の並進移動のタイミングを正確に制御する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

塗布ダイを形成する方法であって、

ダイキャビティに流体連通する少なくとも 1 つのアプリケーションスロットを有するダイを具備する装置を用意するステップと、

前記ダイキャビティ内に膨張可能チャンバ装置を配置するステップと、
を含む方法。

【請求項 9】

前記膨張可能チャンバ装置を前記アプリケーションスロットの実質的全長にわたって延ばすステップをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。